

お知らせコーナー

- 1月 5日 新年会<餅つき> (東堀切くすのき園)
 6日 新成人を祝う会 (")
 8日 第6回北町きらきら寄席 (北町福祉作業所)
 11日 40周年記念式典 (さくら学園)
 14日 新年会 (白鳥福祉館)
 15日 成人式・新年会 (駒沢生活実習所)
 16日 講演・交流会「先進事例に学ぶ・
 自然と共生する自立の形」(大島恵の園)
 法人第2次採用試験 (法人)
 18日 虐待防止研修 (法人)
 27日 第238回理事会 (法人)
 31日 退園生会 (武蔵野児童学園)
 2月 5～7日 KOMA展・作品展 (駒沢生活実習所)
 6～7日 日本福祉大学提携法人サット参加 (本部)
 11日 故人を偲ぶ集い (大島恵の園)
 13日 講演会「地域住民と協働で
 エコパークづくり事例」(大島恵の園)
 20日 第2回北町きらきらコンサート
 (北町福祉作業所)
 21日 カメラマラソン参加
 (大島恵の園、第2大島恵の園)
 22日 公開福祉講座「うつについて」
 (北町福祉作業所)
 3月 5日 春の集い (駒沢生活実習所)
 13日 講演会「地域発の情報発信の仕組み事例」
 (大島恵の園)
 14日 第22回東社協福祉マラソン参加
 21日 壮行会 (武蔵野児童学園)
 24～26日 法人新任職員研修

東京トヨペット株式会社では社会貢献活動として、毎年福祉施設に「東京善意銀行」を通じ「福祉車両寄贈」をおこなっています。今年、の善意銀行からの呼びかけに八王子福祉作業所が昨年同様、希望を出したところ、1台のみの寄贈先に八王子福祉作業所が選ばれ、車いす2台を含めた10人乗りの車いす使用車「ハイエース」が寄贈されることとなりました。



贈呈式



大切に使います

12月3日に、東京トヨペット株式会社様からは熊野専務取締役はじめ6名、武蔵野会からは理事長に出席いただき、八王子福祉作業所にて「寄贈式」がとりおこなわれました。あいにくの雨模様のため、車をかこんでの記念撮影はできませんでしたが、あちこちで利用者の歓声があがりました。これから、授産作業や、清掃活動、土曜日の余暇活動などで有効に使わせていただきます。

ショーケース 自主生産品紹介

世田谷区立 世田谷福祉作業所の巻

住所
〒154-0002
東京都世田谷区下馬2-31-34-101
電話 03-3703-1519



干支のトラがかわいらしい。木製の台と和紙の風合いが評判です。

昨年好評を頂きました世田谷福祉作業所特製『手すき和紙カレンダー』が今年もデザインを新たに好評発売中です。オフホワイトの色と和紙独特の風合い、そして手すき和紙独特の縁の「ミミ」がとても素敵です。干支のトラが昼寝をしている表紙を始め、毎月色々なキャラクターが登場。雪だるまのスノーボードやツクシのダンス

武蔵野会後援会

社会福祉法人武蔵野会が経営する23施設と4つのグループホームの利用者のために、より良い環境や施設の充実・施設の円滑な運営などを、物心両面から支える組織として、武蔵野会後援会があります。皆様のご理解とご協力により、会の拡大をはかり、法人の運営基盤の確立を応援していますので、ご協力をお願い申し上げます。

〒193-0931

東京都八王子市台町 1-19-3

電話・FAX 042-626-9772

などなどカレンダーをめくるのが楽しみになる事でしよう。また、今回は予定や記念日を書き込めるスペースも設けました。もちろん企業様向けに名入れも致します。デスクの上や玄関、寝室などにいかがでしょうか。
 『手すき和紙カレンダー』頒価
 600円(台木無し500円)ぜひご利用下さい。



書き込みスペースも充実。毎月、めくるのが楽しみになります。

「みんなの力成年後見センター」発足記念

講演会開催

武蔵野会では、社会福祉法人の社会貢献の一環として、3か年計画の中に成年後見制度構築を課題として検討をしてきましたが、12月1日に、多くの方の協力により、一般社団法人みんなの力を創設し、「みんなの力成年後見センター」を八王子市の千人町に開設しました。そのお披露目と今後も武蔵野会が側面から支援していく決意を込めてのキックオフを「みんなの力発足記念講演会」と題して12月9日に八王子のクリエイティブホールで実施しました。

第一部は、講師の神田織音さんによる成年後見講談で、後見制度の必要性について、実際にあった話を通して分かり易く、しかも、聞き手の心に染みこむような語り口で、来場者が涙をぬぐう場面もありました。第二部は成年後見の第一人者である赤沼康弘弁護士による講演で、日本の現状を紹介しな



がら、丁寧に成年後見制度全般について説明されました。

第三部では、上野理事長が、一般社団法人みんなの力の発足の経過と設立の趣意説明を行い、武蔵野会の今後の果たすべき役割について、利益相反問題を克服した新しい法人後見のありかたを目指すという決意が語られました。

その後、みんなの力の谷口健吉代表理事から、文字通りみんなの力を結集して地域の障害者の権利擁護の拠点を目指していくという決意表明があり、あわせて、発足時の理事、監事、発起人の紹介も行われました。

会場は240席が満席で途中退席もなく、成年後見制度への関心の深さと、講演が分かり安くしかも充実していたため、大変に好評な講演会となりました。



第三部の「みんなの力」発足式まで、盛会の内に終了しました。今後ともお力添えの程、よろしくお願い申し上げます。

実践報告が受賞

西水元あやめ園

東京都社会福祉協議会が主催する高齢者福祉大会が9月30日に行われました。今回の大会では都内の109の高齢者施設がそれぞれの支援の取り組みを発表しました。西水元あやめ園は平成19年度からの排泄委員会の活動である「個別排泄への取り組み」の実践報告をし、東京都福祉保健局長賞を受賞いたしました。

具体的な実践内容は、適量の水分の摂取、多職種と協働し下剤の調整、運動の工夫、排泄時間の調整や排泄用具の見直しなど多岐にわたりました。結果、利用者の健康増進につながり、排泄の取り組みを越え、生活の質の向上につながりました。

今回のテーマは「元気な生活の作り方」(水分・食事・排泄・運動)適量+職員の愛情大さじ一杯「でした。今後もこのテーマに沿った取り組みを続けることで、利用者が健康を維持し、笑顔で過ごせるように、職員全員で実践を積み重ねていきたいと思えます。

白鳥福祉館

今年、成人式を迎えられるのは一名、1月14日の新年会でお祝いをします。健康第一に、社会的自立をめざして、一歩ずつ頑張っていると思っています。

九品仏生活実習所

11月に九品仏あんしんすこやかセンター(地域包括支援センター)とコミュニティホーム楽(小規模多機能型居宅介護)との共催で、講師を招き、軽体操を行いました。少人数の参加でしたが、樂の利用者の方と、1時間程、楽しみながら体を動かししました。初めての試みで、これからは機会を設けて交流していきたいと考えています。

大島恵の園

今年の4月に障害者自立支援法の新体系へ移行します。移行を前提とする都の基盤整備事業を活用し、1階静養室、1階トイレの改修、特殊浴槽の設置など改修工事を行います。

八王子生活実習所

当園の流行語大賞はというと「新型インフルエンザ」です。何かと気忙しかった。今年を一字で表すると結実の「実」。何かとみのりのあった年でした。来年を一字で表すると開拓の「拓」。新たに新規事業を考えたい。

ニュース ラウンジ

第一回 武蔵野会セミナー 開催

11月8日 練馬区労政会館にて「第1回武蔵野会セミナー」が開催されました。武蔵野会では、社会貢献の一つとして、様々な観点からの福祉情報を基に、地域と共に学ぶ機会を提供するため、毎年「セミナー」を開催することになりました。第1回はノンフィクションライターの山本譲司さんをお招きしました。以前に練馬地区



たくさんの方にお集まりいただきありがとうございました

で開催した講演と同じテーマ（昨年7月号に掲載）「刑務所内の現実から見えてくる我が国の福祉」今、施設や地域は何を求められているか」をさらに分かりやすく切実に訴えられ、福祉従事者としてなすべき事は多いという事を知られました。地域の方々からは「山本さんの講演会を探していました」「知らないことが多く驚きました」など様々な意見が聞かれ、改めてテーマの重さや深さを知らされました。福祉従事者のみならず、市民の皆様の生の声は、社会貢献への始まりを実感できるものでした。これからも「人権」をメインテーマに福祉の現場以外からのニーズも掘り起こし、地域福祉の推進に寄与して参ります。

ログハウスの 作品販売店

練馬福祉園

昨年の11月、練馬福祉園、東門スペースに日中活動作品を販売するログハウスを設置しました。中には陶芸作品やハーブ班の商品がところ狭しと並べてあり、ハーブ

の香りと陶芸の和のテイストで癒しの空間を作り出しています。今年度、練馬福祉園では、利用者と地域の交流をテーマに日中活動を実施しています。利用者が参加し、制作した作品を展示・販売し、地域の方々に練馬福祉園に来ていただく。そこで生まれる光景は、利用者と地域住民との交流です。開店から1ヶ月を過ぎ、来店してくださる地域の方々も徐々に増え、利用者の方々も地域の方々と積極的に関わる機会が増えてきました。開店時間は、朝10時から午後4時30分です。その他、喫茶室「陽だまり」では、クッキング班のシフォンケーキも数量限定で好評販売中です。お近くへ起こしの際は、是非、お立ち寄り下さい。



利用者・職員一同、こころよりお待ちしております

施設あれやこれや

さくら学園

今年で40年を迎えます。これも地域、ボランティア、地主、行政、保護者の方々のご協力のおかげだと感謝しています。1月11日には式典を開く予定です。

駒沢生活実習所

昭和40年代に青首大根の普及で一度は姿を消した世田谷生まれの「幻の大蔵大根」。農芸芸班が栽培に挑戦し見事に復活。肉付きがよく、水分が少なく煮崩れしにくいので煮物、おでんに最適です。

東堀切くすのき園

恒例のクリスマス会を12月18日に開催。第1部のコンサートでは、素晴らしい演奏に耳を傾け、楽しい時間を過ごしました。保護者へのプレゼントは、活動で作った手作り品を日頃の感謝をこめて贈呈しました。

希望の里

今年、成人式を迎えられるの是一名で、1月5日の「抱負を語る会」で施設の皆さんとお祝いをしました。自立に向けて努力されていますが、健康に気をつけて、これから皆さんと頑張ってください。



武蔵野児童学園
施設長 上林 悟



すぎな愛育園
施設長 山田貴美



八王子市心身障害者福祉センター
所長 龍原敏勝



希望の里
施設長 村山俊彦



八王子福祉作業所
施設長 多々良康子



八王子生活実習所
施設長 山内哲也 (本部次長)



大島恵の園
施設長 野々村武志



第2大島恵の園
施設長 萬谷高文



さくら学園
施設長 安田喜人



法人本部
理事長 上野純宏
本部長 高橋信夫
課長 中山政夫
主任 津川志帆
事務員 田代孝代

明けましておめでとうございます
本年もよろしくお願いいたします
社会福祉法人武蔵野会職員一同



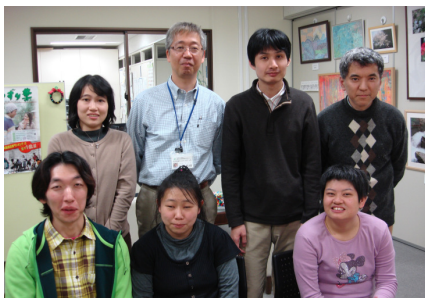
練馬福祉園
施設長 中島通子



練馬区立大泉町福祉園
施設長 木村文孝



練馬区立北町福祉作業所
施設長 金澤正義



練馬区立光が丘障害者地域
生活支援センター「すてっぷ」
所長 石野哲朗



西水元あやめ園
施設長 吉倉美佐子



東堀切くすのき園
施設長 岡部智彦



白鳥福祉館
施設長 福元 與



きね川福祉作業所
施設長 須永 正



世田谷区立駒沢生活実習所
施設長 宮原康輔



世田谷区立烏山福祉作業所
施設長 横尾泰朗



世田谷区立世田谷福祉作業所
施設長 森 直貴



世田谷区立九品仏生活実習所
施設長 松岡利明



小平福祉園
施設長 大島安彦



千代田立障害者福祉センター
所長 大和田 卓



を生きる事。笑顔を向け、気にか
け、手をかけ、ジジイにならない
事で心身の安全を保ちます。

渡辺 瞭

平成18年度「障害者自立支援
法」が施行され、障害程度区分認
定が身体的機能を重点的に判定さ
れ知的重度判定が変化し、入所や
サービスなどの可否、自己負担増
などで施設の経営に大きな影響が
あるのでは・・・と心配された
が、理事会における資料や報告に
よると職員の方々の厳しい努力の
お陰で武蔵野会が経営的にもコン
プライアンス面でも立派な成長を
続けていることに喜びを感じてい
ます。

村山 悦正

詩人シラーが「無条件の行為
が、美しい行為である」と語って
います。正に武蔵野会の基本理念
に通じています。義務的、経済的
な行為を超えて人間としてのやさ
しさ、思いやりの精神で隣人を愛
することの大切さを伝えたもので
す。

特に暗いニュースの多い昨今、

この無条件の行為を共有できる世
の中に一步、一步近づける努力
が、政治力とは別に今私達に課せ
られているものと確信しております。

中島 通子

誰の生活にも、国の政策が影響
しますが、支援を必要とする人
は、権利や平等まで脅かされる心
配があります。

理念に基づいた支援は、政策を
超えて揺るぎのないものではあり
ますが、国民の真の幸福のための
政策が必要です。福祉現場の声は
その重要な鍵になるはずです。

(監事)

春日 完和

毎年「支援実践集」を読むたび
に、各施設での指導員による利用
者支援の熱心な取り組み、苦心の
経過と成果に心を打たれ、「人
は、人との関わり・心を向ける対
象との関係をとおして内在する課
題解決能力を高め、成長しうる存
在である」ことを確信していま
す。

上記の役員の方以外に今坂康志
理事、青木秀雄理事、黒山美恵子
理事、谷口謙吉監事が、法人の運
営に尽力されています。谷口監事
は、一般社団法人みんなの力の代
表理事に就任されました。

武蔵野会の役員は、理事10名、
監事2名で構成されていますが、
法人の懸案だった、定款変更が今
年度受理されると、現在の理事会
のほか、評議員会が設置されるこ
とになります。

評議員会は、理事と評議員を兼
任した場合でも評議員が多くなる
ように、理事数の2倍を超える人
数配置が必要となります。つま
り、最少でも21名の評議員が選任
されます。

定款変更申請の受理に、時間を
要しますが、受理されれば、理事
と監事で12名の現在の理事会と
21名の評議員会を開くことになり
ます。



化に向かおうとしています。社会
福祉制度の過去20年間の流れを振
り返っても、改革・過渡期・見直
しという変化は途切れることはあ
りません。社会福祉事業法の改正
(社会福祉法への改称)をはじめ
社会福祉関連八法の改正や、社会
基礎構造改革以降の社会福祉に係
わる法や制度の変遷は、私たちの
実経験と重なるところです。平成
15年にはじまった支援費制度で
は、利用契約書を交わすなかで大
きな変化を実感し「自己決定・自
己選択の支援のありか方」など利
用者支援の現場で現実的な課題と
して語り合い、取り組んだことも
昨日のことのようです。

この制度は、平成18年の障害者
自立支援法の成立・施行に伴って
廃止となりました。変革には「緩
やかに揺れる振り子のような振
幅」や、もっと大きな「うねり」
のような目に見えない力も作用す
るのかもしれない。物事の移り
変わりはすべからず牛歩の如くあ
るべきとは思いませんが、こと障
害者福祉の分野においては、福祉
施設の利用者の立場や視点を抛り
所にした「一途さ」と「しなやか
に」をもって事に当たっていき
たいと思います。

大島恵の園 施設長 野々村武志

旧年中は格別のお引き立てを賜り
厚く御礼申し上げます
本年も倍旧のご指導のほど
お願い申し上げます

平成22年

新年挨拶

理事長 上野 純宏



現在準備
中ですが、
法人経営面
における武
蔵野会の今
年の新しい
動きとして、懸案であった法人定
款の変更があります。

定款変更では、第一条の目的を
障害者自立支援法移行施設等を含
めた表現に改め、各事業の位置づ
けを明確にします。

また、新たに評議員会を設置
し、執行機関である理事会に対す
る諮問機関として、法人経営の一
層の公正性や透明性を図ります。

これらの基盤強化により、先行
して成果を挙げてきた、経営改革
推進事業に基づく諸取り組みと併
せ、形も内容も伴った法人経営が
実現することとなります。

今年も皆さまのご支援とご協力
をよろしくお願いいたします。

ご支援に心より

感謝申し上げます

武蔵野会後援会
会長 石谷 暢司



会員や協賛
の皆様が手輕
にご協力頂け
る方法は募金
です。塵も積
もればの譬え

のように、多くの方の善意が募金
箱の中に見いだされます。近隣の
商店や事業所などに置いて頂けれ
ば、地域社会との連携が図れます
ので、ぜひ参加をお願いします。

また、使用済み切手やベルマー
ク、書き損じのハガキなど、少し
でも結構です。本会事務所にお送
りください。皆様の協力が本年度
の目標達成額になりますので、よ
ろしくお願い致します。

なお「みんなの力成年後見セン
ター」への参加により、利用者と
保護者の将来への不安解消に役立
つ機関として期待しています。

法人役員挨拶（順不同）

（理事）

青木 昌子

支援を必要とする内なる利用者
への働きかけから、広く社会貢献
となる成年後見制度のための「み
んなの力成年後見センター」の設
立は、利用者・保護者に大きな安
心を与えます。その安心が広く、
しっかりと根をはるための協力を
していくことが大事であり、支援
してまいりたいと思います。

金森 仁

1月10日から大相撲初場所が始
まります。大関琴欧洲は法人45周
年パーティーに出席しましたが、
利用者やご家族から熱烈な歓迎を
受けて心から喜んでいました。場
所後の2月14日には結婚式も控え
ています。是非とも応援の程、宜
しく申し上げます。

廣本 肇

今年77歳。喜寿です。まず頑固
にならない事。愉快な年寄りであ
る事。オシャレを放棄しない事。
好奇心旺盛にして、何かに挑戦し
ている事。五つの抱負で22年

の武蔵野

諸行無常という言葉

「二途さ」と

「しなやかさ」

がありますが、街並みや人の姿、
テクノロジーなど次々と新しいも
のが現れてきます。ものによつて
は色・形・柄が遠い昔に流行した
ものが使われていることがあります。
あたかも緩やかに揺れる振り
子のような繰り返しを感じることも
あります。世代や時代が移ろい
でいく中では、繰り返しであった
としても新鮮に受け入れられ、洗
練をされていくものかもしれませ
ん。いずれにしても、一所にとど
まることは決してありません。

ところで、2009年を表す言
葉が「新」であったように、米國
オバマ大統領の登場とノーベル平
和賞受賞、国内では政権交代と、
かつてない出来事や大きな変化が
ありました。いずれの変化も背景
や必然性があったということであ
ろうが、よい変化につながって
いつてほしいと心から願ひ期待す
るところです。

国内の政権交代により、すでに
掲げられている社会保障制度の見
直し・障害者自立支援法の廃止・
障害者権利条約の批准に向けた関
連諸法の整備等、さらに大きな変

春夏秋冬



武蔵野会ニュース No. 136 平成22年1月10日

発行 社会福祉法人 武蔵野会

本部 東京都八王子市台町1-19-3 TEL042 (623) 8509

<http://www.musashinokai.jp/>

新年の「あいさつ」



「製菓室でのワッフル作り」
八王子福祉作業所

トーク

ケアリング

旧年、特に感動を覚えたことがあります。一つは、法人内の入所施設で、身寄りのない利用者が亡くなられたとき、その方が施設入所前に隣の家に住んでいたという縁だけで、生前から関わりを続けていくくださったクリスチャンのWさんが、心温まる葬儀と納骨までも進んで行ってくくださったこと。もう一つは、40年ほど前の施設見学を契機に今日まで、ボランティアや後援会役員等として、一貫して継続的に武蔵野会のために活動してくださったKさんが、感謝の言葉を残されながら第一線を引退されたことです。

私たちは、社会福祉事業を通して社会貢献を果たしていると考えがちですが、実は私たちの活動は、ボランティアや寄付者をはじめ、外部の多くの方々のこのような無私の愛によって支えられていることを実感した出来事でした。

支援する側が実は支援される側でもあるという関係は、最近よく聞く「ケアリング」という言葉にも込められているようです。利用者の人生をより豊かにするケアを日々実践している職員は、利用者にならずにでもそのケアに満足していただけだと感じるとき、喜びや、自分もケアされているという感覚を得ることができます。ともに成長できる関係であり、武蔵野会の理念である隣人愛にも通じる言葉といえます。

万事に合理性や営利の追求が尊重され、自分を見失いがちになる人も多い世の中にあって、人とのふれ合いの中で、経済性を超えた生きがいや働きがいを感じ取ることができるのが社会福祉の仕事ではないでしょうか。

福祉や医療の世界からすべての世界へ、ケアリングの思想が広がっていけば素晴らしいことだと思います。

社会福祉法人武蔵野会理事長 上野 純宏